

2016年 (平成28年) 5月9日 月曜日

戸隠神社ご神木の 樹勢回復図り作業 日本樹木医会県支部



腐った根を取り除くなど樹勢の回復を図ったご神木のスギ

日本樹木医会県支部は8日、長野市戸隠で総会を開き、

実地研修として戸隠神社のご神木「三本杉」のうち1本の樹勢を回復させる作業をした。神社によると、三本杉は樹齢800〜900年とされる古木。支部会員や造園業者ら約30人が状態の悪い根を取り除き、土を入れ替えるなどして、木が養分や酸素を取り入れやすいよう治療し

た。県支部などによると、樹勢

が衰えていたのは、同神社中社の中庭にある高さ約37メートル、幹回り約8・4メートルのスギ。周辺の土が踏み固められ、根が腐り始めていたという。会員らは丁寧に土を掘り起こし、新しい根が生えるよう状態の悪い根を切断。肥料などを加えた土に入れ替えた。再び踏み固められないよう、

スギの周りを囲う予定という。

支部長の原孝昭さん(60)によると、樹木医の認知度は高まってきている一方、木の治療は人間や動物とは異なり、

費用などを理由にためらう人が少なくないという。原さんは「早期発見、早期治療が大切。大切な木を末永く残せるよう、樹木医に相談してほしい」と話していた。